

経営学演習Ⅱ

必修 2単位

大下 茂

1. 授業の概要(ねらい)

本演習のテーマは、地域に軸足をのいた「観光」による「地域再生手法」「地域活力づくり手法」の探求にある。伝統的な観光地のみならず、身近な都市部においても、観光・集客によって地域の活力を創り出したいと考えている地域は少なくない。地域の活力アップを実現するためには、若者の新しい情報ツールを活用した知恵や行動力に期待がかかっている。

そのため、本演習では、現場をフィールドとして、情報収集・情報処理作業を通じて地域再生の仮説の当てをもてる現実的なスキルアップのための演習を行う。

本演習では、前期で修得した基礎的スキルを活かし、演習の集大成である修士論文執筆に向けて、研究構成、既往研究からみた特徴、参考文献の整理、研究を構成する各章の仮説等を取りまとめた研究計画書の作成を目指した演習を行う。

2. 授業の到達目標

①関心のあるテーマに関連する既往研究・資料等をもとに、自身の研究テーマの特徴を説明することができる。

②関心のあるテーマに対応した研究構成・仮説を導くことができる。

③修士論文の研究計画書の草案を取りまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

演習科目であるため出席は必須。出席率と講義中の意欲・発表が50%、修士論文の研究計画書の草案の提出が50%として評価する。

多角的な物の見方・考え方は、グループワークや討議・議論を通じて培われるものであることから、講義中の活発な議論への参加を高く評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

大下茂 『行ってみないと!と思わせる「集客まちづくり」の技術』 学陽書房

川喜田二郎 『発想法』 中公新書

澤田昭夫 『論文の書き方』 講談社学術文庫

斉藤孝 『質問力』 ちくま文庫

5. 準備学修の内容

関連する情報を自ら図書館、インターネット等を通じて日常的に収集し、事前準備の上で積極的に講義に臨むこと。

知識の修得だけに留めず、自らが熟考することで、思考や視野・地域の洞察力を身につけることに努められたい。

6. その他履修上の注意事項

教わることも大切であるが、大学院の講義・特講であることから、自発的に情報を収集して企画・立案する習慣をつけて講義に臨むこと。

また、現場から学ぶことも多々あるので、自ら体験することを通じて見聞を広めることに積極的に参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション・夏期休暇の進捗報告
- 【第2回】 修士論文の研究テーマの探し出し①
- 【第3回】 先行研究・文献の収集と分類
- 【第4回】 修士論文の研究テーマの探し出し②
- 【第5回】 研究の背景と目的の検討
- 【第6回】 研究の意義と特徴の検討
- 【第7回】 論文の全体構成の検討～研究フロー図の検討
- 【第8回】 論文の全体構成の検討～目次の検討
- 【第9回】 研究計画書の作成について
- 【第10回】 【オンライン】研究計画書の作成演習
- 【第11回】 研究計画書の添削①
- 【第12回】 研究計画書の添削②
- 【第13回】 修士論文研究計画書の発表と討議
- 【第14回】 修士論文研究計画書の再発表と討議
- 【第15回】 総括と今後の研究の取組みについて